

東海中 学校だより

東の海より出ずる朝の日

令和2年 6月 1日 NO.3

<めざす生徒像> **賢く、爽やかに**

求めよう！

東海で15歳のあるべき姿を！

品川区立東海中学校 校長 黒田 佳昌

電話 03 3471 6951

日本史と感染症のかかわり

校長 黒田 佳昌

今月の行事

- 06/01(月) 分散登校開始
- 06/10(水) 7年生仮入部開始
- 06/26(金) 進路説明会
(資料配布のみ)
- 06/29(月)・30(火)
品川区学力定着度調査
(登校グループごとに実施)
- ※ 夏季休業日は8月1日～
8月23日となります。

東京都を含む8都道府県で継続していた緊急事態宣言が先月25日に解除されました。日ごとの感染者数が少しずつ減少して明るい兆しが見えてきたようにも思います。しかし、第2波の発生も心配なところです。国や知事も声を大にして訴えるように、引き続き一人一人が気を抜かずに感染症対策「新しい生活様式」を実践していく必要があります。

先週25日に8,9年生、26日に7年生が4月の始業式、入学式以来の登校となりました。1時間程度の学校生活再開でしたが、子どもたちは友や教師との再会を喜び、つながりを確認し、今までのお互いの努力を労うような様子が見られました。そして、本日より分散登校が始まりました。まだ、全校生徒が一斉に登校できる状況にはありませんが、少しずつ分散登校の段階を上げ正常な学校生活に戻していく方向です。今後ともご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

さて先日、京都市の京都仙洞御所内で豊臣秀吉が死去する前年に造られたとみられる「京都新城」の遺構とみられる石垣や金箔瓦が発見されました。秀吉は、織田信長の家臣として出世を重ね、関白、太閤にまで上りつめた天下人であることは誰もが知っていることです。そして、戦乱の世を勝ち上がった秀吉の生きざまには城への考えや思いが強く表れています。例えば、織田信長が秀吉に美濃攻略を命じ、一夜にして城を完成させたという墨俣一夜城(すのまたいちやじょう)、秀吉の水攻めで有名な備中高松城、兵糧攻めで勝利した鳥取城での戦い、秀吉が居城として金箔瓦が使用されるなど豪華絢爛な大阪城(現在のものは江戸時代築城)、隠居後の住まいとして築城しきらびやかで華やかな桃山文化の粋を集めた伏見城など、他にも数多くあります。また、秀吉は数々の戦を勝ち抜くことができた理由として、城を攻めるのにも、守るのにも、築くのにも大変長けていたそうです。研究者の発表では、秀吉は晩年、天皇の御所である京都御所のすぐそばにこの京都新城を設けていて、これは自身の死後を考え、朝廷の権威を借りて息子である秀頼の身を守ろうと考えたのではないかと仮説を立てています。つまり、この城は、軍事的な拠点というより政治的な拠点だったと推測されています。この発見は、秀吉の天下人としての強い思いが分かり、想像を掻き立てられました。

そして秀吉の生き抜いた時代やその前後も感染症(疫病)が先人たちの生活を脅かしていました。我が国は、感染症(疫病:飢饉、天然痘、麻疹、コレラ...)と大地震などの自然災害に何度となく苦しめられ、見えない敵と闘ってきました。先人の祈願の一例として、全国各地の神社仏閣で厄除けの祈願や節分のときの「豆まき」の習慣、「隅田川花火」や「両国川開き」など、死者の供養と災いの厄除けを行い生き抜いてきました。私たち現代人が改めて考えることは、科学的なデータや高度な医療、正しい情報、感染予防のための用具等があるなかで、冷静に正しく恐れ、一人一人が正しい対応することであることを考えさせられます。

結びになりますが、本日より分散登校が始まりました。子どもたちは、この3か月間、不安やストレスを抱えて生活してきたことと思います。学校として子どもたちが不自由な状況の中で頑張ってきたことを認め、できる限り安心感を与え、教師と生徒、生徒同士のつながりを確認し心の安定を図ってまいります。また今、この感染症はいつ、だれに感染してもおかしくありません。地域や身近に感染者が出た場合に、憶測で噂を流したり、差別的に扱ったりすることがないように理解を図っていきます。そして、感染したとしても完治した後は今までと同じように接することができるため、他者を思いやる心を育てていきます。どうぞ保護者の皆様やいつも子どもたちを温かく見守ってくださる地域の方々のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

学校再開時の新型コロナウイルス感染予防対策（東海中学校）

学校再開から新型コロナウイルスの感染流行が落ち着くまで、文部科学省の「学校再開等に関するQ&A」、区立学校版「感染症予防ガイドライン」、「学校の新しい生活様式」を参考に以下のような対策を行います。

1 手洗いの励行

- ・ 外から教室等に入るとき、トイレ使用后、給食前、掃除の後。文具等共用のものを使用した後。
- ・ アルコールのタイミング→登校時のみ（強制ではありません。）
- ・ ハンカチやタオルは自分のものを使い、友達との貸し借りは厳禁！

2 毎日健康カードの確認

- ① 朝、生徒は自宅で検温し、毎日健康カードに記入する。
 - ② 教員が玄関前に立ち、生徒登校時に毎日健康カードの確認をし、発熱やかぜ症状、体調不良がないかをチェックする。確認後、健康な者についてはカードにチェックをつけ返却して教室へ。
- ★ 検温を忘れた生徒については、その場で検温をさせて記入する。
 - ★ 平熱より体温が1.5℃以上高い生徒については原則早退させる。
 - ★ せき・鼻水・だるい症状の体調不良については、症状が重い場合は熱がなくても早退させ、病院へ行く様指導する。長引く場合はクラスで本人が通院していることを周知し、差別発言をしないよう注意する。

3 換気

- ・ 休み時間ごとに窓を開け、換気を行う。給食、消毒の際も換気をする。
- ・ 窓のない部屋や開けることができない部屋については、入り口を開けたり、換気扇を用いるなど工夫する。
- ・ エアコン使用時も換気をする。

4 消毒

- ・ 生徒下校後、教員が消毒作業を行う。

5 マスク着用の指導

- ・ 生徒は、必ずマスクを着用する。（忘れた場合は保健室で渡す）
- ・ マスクの種類・色・柄は問わない。
- ・ 給食時等、はずしたマスクはマスクケース（またはそれにかわるもの）に入れる。

6 給食に関する感染予防対策の指導等

- ・ 給食前の手洗いを徹底する。
- ・ 給食の際は、教室を十分に換気する。
- ・ 全員前を向いて食べ、話は控える。

7 保健室の対応

- ・ 体調不良・発熱した生徒については、保護者連絡し自宅で休養するよう指導する。
- ・ 応急処置等は廊下で行う。

8 ソーシャルディスタンスに関する指導等

- ・ 流しの混雑を避けるため、水分補給用に水筒を持参させる。
- ・ 流しの列の間隔が狭くならないように、床に1m間隔で👤マークを貼っておく。

9 そうじ・ゴミの捨て方

- ・ 掃除の時には必ずマスクをつける。
- ・ ゴミ箱にむき出しのままティッシュやマスクを捨てることは禁止。
- ・ 清掃終了後は必ず手を洗う。

※ コロナウイルス感染防止・クラスター発生防止のため、学校内外を問わず、マスクの着用とソーシャルディスタンスを保つよう心掛けた生活を送ってください。